

磁気データ防磁ケース

Magnetic Guard Case



通帳・カードの磁気トラブルありませんか？

イメージイラスト

近年、携帯電話は、急速に普及し、現在では普及率が92%*1を超えています。しかし、携帯電話が普及するに伴い、通帳の磁気エラーの発生件数も増加しているといえます。携帯電話は、外部磁界の影響で通帳の磁気データ*2を消してしまう働きがあるためです*3。

そこで、携帯電話などによる磁気データへの影響を減少させる薄型の防磁ケースをこの度リリースしました。

外部からの影響を確実に減少させ、更に薄型化したのでバッグの中に入れてもかさばりません。

通帳・カードの磁気トラブル防止可能

通帳・カード保管にあたってのご注意



■このケースは、外部からの磁気の影響を弱める加工を施してあります。通帳・カードの保管にご利用ください。

■通帳・カードは磁気を帯びたもの(携帯電話・ハンドバッグの磁石・テレビなどに近づけると、ご使用になれなくなる場合もありますので、保管方法にご注意ください。



注意

・本製品は、通帳・カードの磁気記録情報を保護するため、中に鉄板を封入しています。折り曲げたりすると鉄板が露出し、怪我をする恐れがありますので、そのような行為は避けてください。
・万一鉄板が露出した場合は当店へお持ちください。新しい製品と交換いたします。

裏面は「注意事項」の文面入っています。
表面に金融機関名をお入れすることも出来ます。(別途料金)

携帯電話などの磁力から磁気データを守ります

データ保護ケースは、携帯電話による磁気データへの影響を低減することで、磁気データの読み取り不良を減少させます。

左表のデータは、通帳をケースに入れずに剥き出しの場合と、磁気データ防磁ケースに入れた場合の外部磁界による磁気データへの影響を検証した結果です。

ケース無しの場合、通帳に携帯電話が接触すると*4、磁気出力が低下し、読み取りNGになります。それに対し、磁気データ防磁ケースに入れた場合、外部磁界を弱めるため、磁気出力は読み取り可能出力を保持することが出来ます。

*1 2010年3月時点(内閣府調査)

*2 磁気抗磁力3000eタイプ磁気テープを有した通帳

*3 携帯電話の外部スピーカー付近との接触によりデータが消去されます

*4 通帳の磁気記録部に携帯電話の外部スピーカーを接触させた場合

*5 ATM端末機の磁気読み取り可能レベルは機器ごとに異なります

*6 携帯電話の外部スピーカー付近の磁束密度(G)は250G-450Gとしており、全ての外部磁界の遮断を保證するものではありません